

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



令和4年11月4日
陸上幕僚監部

令和4年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）（YS-83）
の概要について

陸上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化するため、以下のとおり令和4年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）（YS-83）を実施します。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦等を実施する場合における指揮幕僚活動を演練して、同活動に係る能力の維持及び向上を図る。

2 期間

令和4年11月28日（月）～12月13日（火）

3 場所

朝霞駐屯地、東千歳駐屯地、健軍駐屯地等

4 演習実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 統裁官	陸上幕僚長	陸 将	よしだ 吉田 圭秀	よしひで
イ 演習部隊長	陸上総隊司令官	陸 将	まえだ 前田 忠男	ただお
	北部方面総監	陸 将	おきむら 沖邑 佳彦	よしひこ
	西部方面総監	陸 将	たけもと 竹本 竜司	りょうじ
ウ 実施部隊	陸上幕僚監部、陸上総隊、北部方面隊、西部方面隊、教育訓練研究本部 等			
エ 協力部隊等	統合幕僚監部、海上自衛隊及び航空自衛隊			

(2) 米 軍

ア 統裁官	太平洋陸軍司令官	陸軍大将	チャールズ・A・フリン
イ 演習部隊長	第1軍団長	陸軍中将	ザビエル・T・ブランソン
	第7歩兵師団長	陸軍少将	ステファン・G・スミス
	第11空挺師団長	陸軍少将	ブライアン・アイフラー
ウ 実施部隊	太平洋陸軍司令部、在日米陸軍司令部、第1軍団、第11空挺師団、第7歩兵師団、第3海兵師団 等		
エ 協力部隊等	太平洋艦隊、太平洋空軍 等		

5 特色

- (1) 我が国を取り巻く安全保障環境に適応し得るよう、約40年にわたり演習内容を進化させつつ発展を遂げてきた陸自最大規模の日米共同演習
- (2) 演習部隊を、これまでの1コ方面隊から、陸上総隊及び2コ方面隊に拡充するとともに日米海・空軍種の参加を拡充し、より実地的な状況における指揮所演習へと進化。これにより、方面隊による作戦レベルの指揮幕僚活動に係る演練に加え、陸上総隊による戦役レベルの指揮幕僚活動を演練
- (3) 従来の領域に宇宙、サイバー及び電磁波といった新領域を加えた自衛隊の領域横断作戦（CDO）と米陸軍のマルチ・ドメイン・オペレーション（MDO）及び米海兵隊の機動展開前進基地作戦（EABO）に係る日米の連携要領を演練

※ CDO : Cross Domain Operations

MDO : Multi Domain Operations

EABO : Expeditionary Advanced Base Operations

6 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる隊員が発生した場合は、事前に準備した施設に隔離してPCR検査等を受検させるとともに、濃厚接触者と疑われる隊員を速やかに特定・隔離して感染拡大を防止
- (3) 陽性者が発生した場合は、所在地域の保健所の指導等に基づき隔離するとともに、重症化した場合は、速やかに近傍の救急対応病院等に搬送